

図書だより 5月号



学校図書館司書

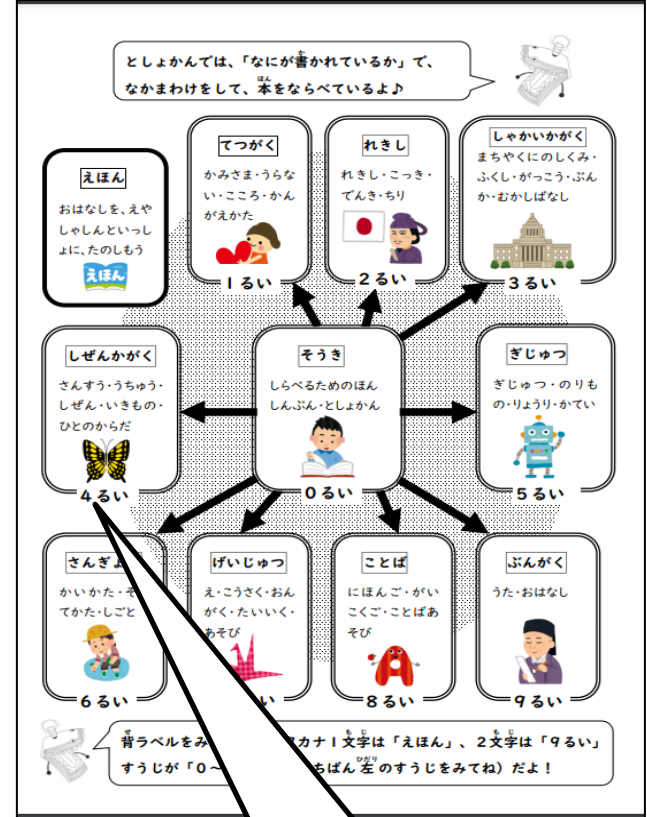
雨がふると少し寒いですが、だんだんと暑くなってきましたね。暑くて疲れたときは、ゆっくりと本を読んでみましょう。



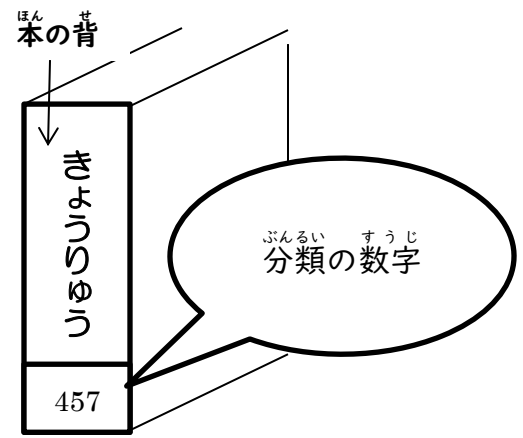
本のならび方を知り、正しい場所にもどしましょう

図書室の本のならび方には、ルール(日本十進分類法)があります。本は内容ごとに仲間わけ(分類)されて、ならべられています。たとえば、恐竜の本は「自然科学」の4類のところにあつまられています。

どの棚にどんな本があるのかは、すぐに分かるように工夫がされています。大きく数字がかかれた「サイン」が置かれています。本の背の下の方に数字がかかれた「ラベル」(シール)がはってあるので、その数字を見て、本をもどしてください。読書ノートのさいごにも、分け方のルールがのっています。見てくださいね。



4類は自然科学です



たとえば、恐竜の本には「457」という数字のラベルがはってあります。4からはじまるので4類です。



4月から5月にかけて、図書時間に2・3・4年生は、図書室の本のならび方の説明を聞きました。本の背にはられた数字は、本の住所のようなものです。数字を見て正しい場所にもどしましょう。どうしてもわからないときは、「まいごの本」のところにおいてください。

